

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成30年(2018年)
7月13日
発行責任: 校長 石井武

★コンクリートブロック塀工事が始まります!

安全第一、みなさんの協力をお願いします!!

6月18日に発生した「大阪北部を震源とする地震」により、体育館、プール、ブロック塀などに破損があり、体育館は補修のため7月8日まで使用できませんでした。

昨日、保護者向けに「コンクリートブロック塀に関わる工事」についてのお知らせプリントを配付しましたが、7月16日からプール3方のコンクリートブロック塀を撤去し、新たにフェンスを設置するための工事が始まります。かなり大掛かりな工事になるので、工事期間は1ヶ月以上かかる見込みです。ソフトテニス部のみなさんにはコートが使えない状況になってしまい大変申し訳ありませんが、ご協力をお願いします。

また、プール東側の道路は多くの生徒が通学路にしていますが、仮歩道が設置される予定ですので、車道は通らないようにしてください。そして、トラックなどの工事車両が北門から運動場に入ってくるので十分に注意するとともに、工事現場(プール付近)など危険箇所には絶対に近づかないようにしてください。

五中の施設・設備を安全により良くしてもらうための大事な工事です。生徒のみなさん全員の協力をよろしくお願いします。



★暑い中、みんなで力を合わせ頑張った!

2年海洋学舎@大阪府海洋センター

2年生(66期生)は7/3(火)~4(水)、1泊2日の宿泊学習として海洋学舎を実施しました。1日目は快晴のもと、学年レクやマリンプログラム(いかだ、ヨット)を楽しみました。ヨットでは、基本的な操作を学び2人1組でセーリング、いかだは6~8人で協力し自分たちで組み立て、オールを漕いで海を進みます。豊中では体験できない、素敵な活動ができました。2日目は、強風のためマリンプログラムが中止となりましたが、体育館でのドッジボールで大いに盛り上がり、お昼の飯ごう炊さんではカレー作りに悪戦苦闘しました。



海洋学舎でのルール決めやクラスレク、バスレクなど議員や実行委員が中心となってみんなの力を合わせて頑張れたことは、きっと来年の修学旅行にもつながっていくと思います。ご苦労さまでした!

話を聞く態度や集合状態などきっちりできる学年です。今回の海洋学舎をきっかけとしてよりいっそう協力とまとまりがあり、「責任行動」ができる学年集団をめざしてくださいね!

★1年生、JICA出前授業!

1年生(67期生)は6月から班ごとに決めた国を本やネットでその特徴を調べまとめていく「世界の国しらべ」に取り組み、政治や文化、言語、自然、歴史などさまざまな観点からの国際理解学習を進めています。その一環として7月12日(木)にJICA(国際協力機構)の青年海外協力隊でアフリカのウガンダへの派遣経験がある田上加奈さんを講師に迎え、出前授業を実施しました。電気や水道のない生活の中での食生活の話では、いかに水が貴重であるかということ

や、失敗やつまずきから本当の意味の交流がはじまり、支援につながっていったことなど、たくさんの興味深いお話を聞くことができ、学びを深めることができました。話を聞く態度もとても良かったと思います。

これから大きく成長する67期生にとって、広い視野と豊かな心、何事にも挑戦する強い気持ちを育むための第一歩になったことと思います。



★3年生、進路学習!

3年生(65期生)は、進路学習の一環として6月に高校の先生やハローワークの職員の方をお招きして、就職や進学、受験や高校選択などについてお話を聞き、現在、「一本の大根として」の読み物教材をもとに、自分と仲間の進路を見つめ、一人ひとりが「進路」という壁にどのように向き合い、仲間とともにその壁をどう切り拓いていくのか、「自分の生き方」としての進路選択について考えようとしています。

現在実施中の三者懇談においても、第1回進路希望調査をもとに、これまでの反省と今後の目標に向けた取り組み方について、本人、親、担任が話し合い、方向性を確認しています。それぞれの一生の中でも大事な夏です。後悔しないよう前向きに一歩ずつ進めてほしいと思います。



★「緑の募金」協力ありがとう!

環境美化委員さん、お疲れさまでした!

6/18(月)~22(金)が募金活動期間でしたが、18日が地震、20日が警報発令のため3日間の取り組みとなりました。朝の登校時間帯に各学年の環境美化委員が東ピロティ付近で募金箱をもって募金活動を行ないました。集計額は4,180円となりました。募金協力ありがとうございました。みなさんが樹木や草花の命を大切に、五中がもっともっと花と緑にあふれた素敵な学校になっていくことを心から願っています!



西日本豪雨(平成30年7月豪雨)により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

西日本を中心とした豪雨により100名を超す多くの死者、安否不明者が出ており、平成では最悪の被害となっています。現在、自衛隊や警察などによる懸命の救助、捜索活動、復旧・復興支援が進められています。また、多くの学校が避難所となっていますが、暑さ対策や水、食料不足など支援が急がれます。私たち一人ひとり何ができるのかしっかり考えていきたいものです。



